

音更町都市計画審議会会議結果（要旨）

	音更町都市計画審議会（令和2年度 第2回）
開催日時	令和3年2月15日（月） 午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	音更町役場 3階 特別会議室
委員出席者	林会長、小林副会長、赤嶺委員、石川委員、岩淵委員、蒲生委員、木野村委員、佐々木（敬）委員、佐々木（康）委員、東端委員、不破委員、宮村委員
事務局出席者	小野町長、下口谷建設水道部長、井原都市計画課長、高瀬土木課長、田村建築住宅課長、平賀上下水道課長、土屋都市計画係長、吉田開発指導係長、和田街路公園整備係長、鷺都市計画係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長挨拶 3 議件 <ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 会長及び副会長の互選について ・協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 スマートインターチェンジの新規事業化採択について
会議資料	議案についてはホームページに掲載しています。
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 会長及び副会長の互選について ⇒次のとおり互選された 会長 林 文昭 委員 副会長 小林 勤 委員 ・協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて ⇒事務局案をもとに進めることを承認 ・報告第1号 スマートインターチェンジの新規事業化採択について ⇒議件のとおり報告
出された主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・協議第1号 音更町都市計画マスタープランの見直しについて 委員：住居系市街地から市街化を抑制すべき区域に変更しているエリアとは開進地区のことか。下水道整備を進めているエリアもあると思うが、今後も市街化調整区域のままで、住居系の土地利用は難しいということか。高速道路の北側に新たに工業系土地利用を位置づけるのであれば、工業団地の近くに家が建てられる住居系の土地があった方がいいと思う。

	<p>事務局：当該変更箇所は国道241号の西側、九線大和や開進（行政区）などにあたるエリアであり、全てではないが、北海道条例により住宅の建築が可能な開進地区（条例指定区域）を一部含んだエリアである。開進地区（条例指定区域）については今後も現在の市街化調整区域のままかとは思いますが、北海道条例により住宅の建築が可能であることも変わりはない。しかし、帯広圏域単位で住居系が不足することにならない限り、住居系の市街化区域編入は難しい状況である。</p> <p>委員：旧帝国繊維のエリアにおける工業系土地利用の位置づけについて聞きたい。</p> <p>事務局：現在のIC工業団地にほとんど空きがないこともあり新たな適地を探したところ、農業振興地域の農用地区域から外れている当該エリアを新たな工業団地の候補としている。</p> <p>委員：柳月や新道の駅建築地を工業系土地利用の位置づけをしているが、将来的に工業系で市街化区域編入の方針であるのか。</p> <p>事務局：当該エリアは現在市街化調整区域であるものの、保安林の南側は公園・新道の駅・柳月で土地利用が埋まるため、保安林の北側を含めて将来的な可能性を考え、許容用途の幅広い工業系の位置づけをしている。</p>
お問合せ先	建設水道部都市計画課都市計画係（内線312）